

地質調査所研究資料集

この資料集は、地質調査所資料室（電話（0298）54-3605）で閲覧できます。

地質調査所研究資料集 No. 225

粟田泰夫・鈴木康弘（1996）

平成7年度活断層調査研究報告 No. 1 淡路島北部，野島・小倉断層のトレンチ掘削等による活動履歴調査. 248 p.

内容紹介

本研究資料集は1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震の際に地震断層が出現した野島断層及び小倉断層を対象として実施されたトレンチ掘削等による活動履歴調査の結果をまとめたものである。トレンチ調査の結果，野島断層系の1995年の活動に先行する断層活動は約2000年前に生じたことが判明した。また，地震直後に指摘された約400年前の小規模な断層活動の存在を積極的に示す証拠は得られなかった。

地質調査所研究資料集 No. 226

粟田泰夫（1996）

平成7年度活断層調査研究報告 No. 2 淡路島北部の浅層反射法弾性波探査による浅部地質構造調査. 76 p.

内容紹介

本研究資料集は1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震の際に地震断層が出現した小倉断層及びその南方の水越撓曲と淡路島北東岸の仮屋断層などの浅部地質構造の解明を目的として実施された浅層反射法弾性波探査の結果をまとめたものである。浅層反射法弾性波探査の主要な成果として，水越撓曲の直下に東（島側）へ約70°傾斜する逆断層が確認されたことがあげられる。また，東海岸の調査結果によると，仮屋断層の存在を示す反射面の不連続などの異常構造は見いだされなかった。

地質調査所研究資料集 No. 227

粟田泰夫（1996）

平成7年度活断層調査研究報告 No. 3 淡路島北部，水越撓曲のボーリングによる変位量調査. 52 p.

内容紹介

本研究資料集は1995年1月17日の兵庫県南部地震に伴う地震断層の南端が到達した水越撓曲の上下変位量の解明を目的として実施された掘削深度300mのオールコアボーリングとP波速度検層の結果をまとめたものである。本調査の結果，大阪層群仮屋累層とその下位の富島累層の境界が深度256mにあることが判明し，別途実施した反射法弾性波探査の結果（本活断層研究調査報告 No. 2 参照）と併せて，大阪層群最下部の上下変位量は約300mに達すると推定された。

地質調査所研究資料集 No. 228

粟田泰夫・角井朝昭（1996）

平成7年度活断層調査研究報告 No. 4 淡路島北部，楠本・東浦・野田尾断層のトレンチ掘削等による活動履歴調査. 138 p.

内容紹介

本研究資料集は、兵庫県南部地震の際に活動しなかった淡路島北東岸の楠本、東浦、野田尾の3断層と、活動して地震を生起した野島断層系との挙動の違いを活動履歴の観点から解明するために実施された東浦断層と野田尾断層のトレンチ掘削調査(第1次)の結果をまとめたものである。本調査の結果、東浦断層は室町時代の遺物を包含する土層を切り、近世以降の埋没土に覆われることが明らかになった。また、この活動に先行する断層活動の層準も特定された。野田尾断層については700年前以降に最新活動があったことが判明した。

地質調査所研究資料集 No. 229

粟田泰夫・角井朝昭(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 5 淡路島北部、楠本・東浦断層のトレンチ掘削等による活動履歴調査(第2次)。94p.

内容紹介

本研究資料集は、兵庫県南部地震の際に活動しなかった淡路島北東岸の楠本、東浦、野田尾の3断層と、活動して地震を生起した野島断層系との挙動の違いを活動履歴の観点から解明するために実施された東浦断層と楠本断層のトレンチ掘削調査(第2次)の結果をまとめたものである。本調査の結果、東浦断層は横ずれ変位が卓越し、最新活動に伴う変位量は約1.5mであることが判明した。また、これに先立つ断層活動の年代は約2千年前であることが明らかになった。楠本断層については神戸層群を切る断層が確認されたが、完新世の断層活動に関するデータは得られなかった。

地質調査所研究資料集 No. 230

粟田泰夫(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 6 淡路島北部沿岸海域の浅部地質構造調査。101p.

内容紹介

本研究資料集は、淡路島北部沿岸海域の地質構造の解明と仮屋、志筑両断層の連続性と断層長評価を目的として実施された海域での反射法弾性波探査(マルチチャンネル及びシングルチャンネル音波探査)の結果をまとめたものである。本探査の結果、淡路島東岸海域では仮屋断層に相当する断層・撓曲は認められなかった。また、東浦の沖合い約3km付近に淡路島側隆起の撓曲構造が見いだされ、約10km沖合いを大阪湾断層が通過することが明らかになった。さらに、志筑断層は室津の北方沖合い約3kmの探査海域北端まで、ほぼ鉛直な断層として追跡され、陸域と海域を含めた総延長は12km以上に達することが明らかになった。

地質調査所研究資料集 No. 231

粟田泰夫(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 7 淡路島北部のベイケーブル方式音波探査による浅部地質構造調査。80p.

内容紹介

本研究資料集は、淡路島北東部沿岸海域と陸域の反射法探査データの接続、及び仮屋断層の存否確認を目的として実施されたベイケーブル使用の海陸にまたがる反射法弾性波探査の結果をまとめたものである。本探査の結果、淡路島東岸陸域から沿岸海域にかけての明瞭な反射断面が得られ、陸上から沖合いにかけての地質構造を切れ目なく把握することが可能となった。また、陸上の反射法探査結果(本調査研究報告 No. 2)及び海域の音波探査結果(本調査研究報告 No. 6)と同様に、本探査においても淡路島東岸部では仮屋断層に相当する断層・撓曲は認められなかった。

地質調査所研究資料集 No. 232

粟田泰夫 (1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 8 淡路島中部, 志筑断層の地質調査による活動性調査. 52 p.

内容紹介

本研究資料集は, 志筑断層の第四紀後期の活動性を評価するために実施された空中写真判読, 既存地形地質調査データの収集・解析を含む総合的な地形地質調査の結果をまとめたものである。本調査の結果, 花崗岩類, 神戸層群及び大阪層群を切る断層露頭と断層沿いの強変形・撓曲帯が各所で確認された。しかし, 更新世後期の段丘面には有意な上下変位は認められず, 志筑断層の第四紀後期における活動性は, 野島断層及び北東岸の楠本断層等に比べてかなり低いと判断された。

地質調査所研究資料集 No. 233

吉岡敏和・水野清秀 (1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 9 淡路島中部, 先山断層のトレンチ掘削等による総合地質調査. 100 p.

内容紹介

本研究資料集は, 先山断層の活動性を評価するために実施された地形地質調査, トレンチ調査, 反射法弾性波探査等の結果をまとめたものである。本調査の結果, 先山断層は中位段丘堆積物に4-7mの上下変位を与えていることが判明した。また, 洲本市安坂地区で実施したトレンチ調査の結果, 同断層の最新活動は12世紀以降に生じたことが明らかになった。更に, 反射法弾性波探査の結果, 先山断層南端の南東側約500mに大阪層群の褶曲変形を伴う断層が伏在することが明らかになった。

地質調査所研究資料集 No. 234

水野清秀・吉岡敏和 (1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 10 淡路島南西部, 湊-本庄断層のボーリング, 浅層反射法弾性波探査等による活動性調査. 90 p.

内容紹介

本研究資料集は, 湊-本庄断層の活動性を評価するために実施された地形地質調査, ボーリング調査, 反射法弾性波探査等の結果をまとめたものである。本調査の結果, 湊-本庄断層は西淡山地東縁からその東側の沖積低地下に分布する大阪層群の傾斜変化構造として認識され, その西翼部では同層群が東へ急傾斜していることが明らかになった。また, 大阪層群最下部の上下変位量は170m以上に達することが判明した。しかし, トレンチ調査の結果を含めて, 本断層が完新世に活動したことを示す明確な証拠は得られなかった。

地質調査所研究資料集 No. 235

水野清秀・吉岡敏和・岡村 眞・松岡裕美 (1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 11 淡路島南西部沿岸海域における活断層調査. 59 p.

内容紹介

本資料集は湊-本庄断層の海域への延長とその活動性を明らかにするため, 西淡町湊沖と南淡町阿万沖で実施したシングルチャンネル音波探査の結果をまとめたものである。本調査の結果, 北方の湊沖及び南方の阿万沖とも, 湊-本庄断層の延長と考えられる断層が見いだされたが, これらの断層が完新世に活動したことを示す証拠は得られなかった。また, 阿万沖の断層は中央構造線には連続しないことが明らかになった。一方, 同時に実施した中央構造線の音波

探査の結果、鳴門海峡部の中央構造線は、鳴門市大手海岸沖から淡路島南端の潮崎の沖合いへ連続することが明らかになった。また、大手海岸の約1.5 km 沖合で実施したコアリングの結果、この地域の中央構造線の最新活動はおよそ2500-3500年前に生じたと推定された。

地質調査所研究資料集 No. 236

寒川 旭・杉山雄一(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 12 有馬-高槻構造線活断層系川西地区の考古学的手法及びトレンチ掘削(第1次)による活動履歴調査. 43 p.

内容紹介

本研究資料集は、有馬-高槻構造線の活動履歴を解明するために川西市栄根2丁目地内(JR福知山線川西池田駅前の川西市所有地)で実施された考古学的発掘調査の結果をまとめたものである。本調査の結果、北西-南東方向に延びる4本の雁行地割れと1本の小断層が確認され、これらの地割れ・小断層は安土桃山時代の遺物を含む土層までを切り、江戸時代の土層に覆われていた。このことから、有馬-高槻構造線の最新活動は安土桃山時代から江戸時代初頭と結論され、1596年の慶長伏見地震に対応すると考えられる。

地質調査所研究資料集 No. 237

寒川 旭・杉山雄一(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 13 有馬-高槻構造線活断層系茨木地区(安威断層)のトレンチ掘削(第1次)による活動履歴調査. 48 p.

内容紹介

本研究資料集は、有馬-高槻構造線の活動履歴を解明するために茨木市南安威1丁目地内(近畿コココーラ茨木総合グラウンド東側の道路拡幅用地)で実施されたトレンチ調査の結果をまとめたものである。本調査の結果、変位地形と調和する北落ちの撓曲構造が確認され、30-40 cmの上下変位が認められた。撓曲変形を受けている土層からは鎌倉時代の遺物が産出し、この土層は江戸時代に人工的に削平されていた。これらのことから、安威断層の最新活動は鎌倉時代以降、江戸時代以前と考えられる。

地質調査所研究資料集 No. 238

寒川 旭・杉山雄一・宮地良典(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 14 有馬-高槻構造線活断層系の総合地質調査・その1(トレンチ調査及びボーリング). 206 p.

内容紹介

本研究資料集は、有馬-高槻構造線の活動履歴を解明するために茨木地区(安威断層)2地点、箕面地区(坊島断層)2地点、及び川西地区(花屋敷低地帯)2地点で実施されたトレンチ調査及びボーリング調査の結果をまとめたものである。本調査の結果、川西地区から茨木地区にかけての有馬-高槻構造線活断層系は、室町・安土桃山時代-江戸時代間に最新活動を行ったことが判明し、この活動は1596年慶長伏見地震に対応すると考えられる。また、有馬-高槻構造線の最新活動に先行する活動は約2800年前の縄文時代晩期に生じたと考えられ、1596年の最新活動との時間間隔は約2400年となる。

地質調査所研究資料集 No. 239

杉山雄一・寒川 旭(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 15 有馬-高槻構造線活断層系の総合地質調査・その2(反射法弾性波探査, VSP等). 72 p.

内容紹介

本研究資料集は、有馬-高槻構造線の地下構造解明を目的として、茨木地区で実施されたP波振源による反射法弾性波探査(3測線)、茨木、箕面、川西3地区の各1地点で実施されたVSP探査(S波)、及び箕面地区で実施された2孔間弾性波トモグラフィーの結果をまとめたものである。反射法弾性波探査の結果、安威断層と真上断層に挟まれた茨木低地帯が断層凹地(グラベン)であることが確認された。また、VSP探査と弾性波トモグラフィーにより、反射面の深度と地下のS波及びP波速度が正確に求められ、反射断面の解析・検討に供した。

地質調査所研究資料集 No. 240

杉山雄一・寒川 旭(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 16 有馬-高槻構造線活断層系のS波振源による極浅層反射法弾性波探査. 52 p.

内容紹介

本研究資料集は、有馬-高槻構造線の極浅層地下構造解明を目的として、茨木、箕面、川西3地区の活断層を横断する合計6測線で実施されたS波振源による反射法弾性波探査の結果をまとめたものである。本探査の結果、茨木の1測線を除いて、各断層に対応する反射面のずれや不連続が確認された。また、箕面と川西では、個々の断層沿いに幅50m程度の小規模な断層凹地が形成されていることが判明した。

地質調査所研究資料集 No. 241

寒川 旭・杉山雄一・宮地良典(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 17 有馬-高槻構造線活断層系茨木地区(真上断層)のトレンチ掘削による活動履歴調査. 51 p.

内容紹介

本研究資料集は、有馬-高槻構造線の活動履歴解明を目的として、茨木市安威2丁目で実施された真上断層のトレンチ掘削調査(2箇所)の結果をまとめたものである。本調査の結果、真上断層の最新活動時期は鎌倉-室町時代以降と判断され、弥生時代後期以降、この活動1回だけがあったと推定された。また、本調査では鉛直断面を40cm間隔に掘り出して、壁面に現れた複数の断層を追跡すると共に、特定の鍵層準を平面的に掘り出して、断層の3次元形態と横ずれ変位を計測する試みを行った。その結果、北側トレンチの断層は上下変位の約2倍の右横ずれ変位をもつことが判明した。

地質調査所研究資料集 No. 242

杉山雄一・寒川 旭(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 18 有馬-高槻構造線活断層系の総合反射法弾性波探査(各種仕様・振源の比較検討). 76 p.

内容紹介

本研究資料集は、有馬-高槻構造線を対象として実施されたパイプレーター振源(ミニパイプレーター及びポータブルパイプレーター)による反射法弾性波探査の結果について報告すると共に、反射法探査の仕様及び振源の違いによる探査結果の比較検討を行った結果をまとめたものである。本探査の結果、箕面地域の丹波山地と大阪平野の地形境界沿いに従来知られていなかった断層が存在し、この断層とその南側約500mにある坊島断層とに挟まれた地域は茨木及び川西地域と同様に、断層凹地状の地下構造を持つことが明らかになった。また、極浅層反射法探査におけるポータブルパイプレーターと板叩き式S波振源との比較、及び中深度探査におけるミニパイプレーター振源と重錘落下振源との比較の結果、分解能はほぼ同程度であるが、

透過力は多くの測線でバイブレーター振源の方が大きい結果を得た。

地質調査所研究資料集 No. 243

杉山雄一・寒川 旭 (1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 19 大阪平野南部, 大和川における上町断層南方延長部の反射法弾性波探査. 39 p.

内容紹介

本研究資料集は, 大阪平野の上町台地西縁に伏在する上町断層の南方延長を確認し, 仏念寺山-上町断層系の断層長を評価するために実施された大和川下流部での反射法弾性波探査の結果をまとめたものである。本探査の結果, 上町断層の南方延長と考えられる撓曲構造が堺市の遠里小野橋付近で確認され, 同断層は少なくとも大和川南岸まで延びることが確かめられた。この結果, 仏念寺山-上町断層の長さは少なくとも25 kmに達することが明らかになった。

地質調査所研究資料集 No. 244

奥村晃史・井村隆介・杉山雄一・松島信幸・寺平 宏 (1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 20 伊那谷断層帯の予察地形地質調査及び伊那市山寺地区トレンチ調査. 84 p.

内容紹介

本研究資料集は, 伊那谷断層帯活断層系のトレンチ調査地点等の選定を目的とする予察地形地質調査と, 小黒川断層の活動履歴解明を目的として伊那市山寺地区で実施された同断層のトレンチ調査の結果をまとめたものである。予察地形地質調査の結果, トレンチ掘削候補地点として8地点を選定し, このうち4地点をAランク, 2地点をBランクとした。また, 山寺トレンチの結果, 小黒川断層の低断層崖基部に6-7万年前に降下した御岳-辰野軽石(Pm-III)を切る逆断層が出現した。しかし, 本トレンチでは約2.5万年前のAT火山灰降下以降の断層活動を示唆するデータは得られなかった。

地質調査所研究資料集 No. 245

奥村晃史・井村隆介・杉山雄一・松島信幸・寺平 宏 (1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 21 伊那谷断層帯の活動様式と活動履歴調査・その1(トレンチ調査). 112 p.

内容紹介

本研究資料集は, 伊那谷断層帯活断層系の活動履歴解明を目的として, 中川村横前, 飯島町針ヶ平, 高森町牛牧の3地点で実施されたトレンチ調査の結果をまとめたものである。横前では田切断層の低断層崖基部にトレンチを掘削し, トレンチ壁面には変形してほぼ直立した約6万年前から約2.5万年前の堆積物が露出した。直立した堆積物は約7千年前の鬼界-アカホヤ火山灰を挟む表土に不整合に覆われ, 表土には断層活動を示唆する変位や変形は認められなかった。また, 針ヶ平では田切断層西側の逆向き断層崖を, 牛牧では飯田断層の断層崖基部を掘削したが, 断層は出現しなかった。

地質調査所研究資料集 No. 246

奥村晃史・井村隆介・杉山雄一・松島信幸・寺平 宏・池田安隆・佐藤比呂志・東郷正美 (1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 22 伊那谷断層帯の活動様式と活動履歴調査・その2(反射法弾性波探査). 70 p.

内容紹介

本研究資料集は, 伊那谷断層帯活断層系の地下構造解明を目的として, 4測線(伊那市の国道

361号測線及び小沢川測線，中川村-飯島町の飯島測線，飯田市の飯田測線）で実施された重錘落下振源を用いたP波反射法探査の結果をまとめたものである。伊那市の測線では，地表の与地断層に対応する西傾斜（30-40°）の逆断層が確認された。また，飯島測線では田切断層に対応する西に20°程度傾斜する低角逆断層が確認された。飯田測線でも低角逆断層が認められたが，地形的に推定されている地表の断層位置よりも東側にずれている。

地質調査所研究資料集 No. 247

奥村晃史・井村隆介・杉山雄一・松島信幸・寺平 宏（1996）

平成7年度活断層調査研究報告 No. 23 伊那谷断層帯のボーリング及び高密度電気探査による地下地質調査. 74 p.

内容紹介

本研究資料集は，伊那市山寺の小黒川断層トレンチ地点周辺，及び中川村横前の田切断層トレンチ地点周辺の地下地質層序及び構造解明を目的として実施されたオールコアボーリングと電気探査の結果をまとめたものである。ボーリング調査の結果，山寺地区では断層直下に形成された凹地の形態とこれを埋積するシルト層の分布が明らかにされた。また，横前地区でも断層直下の凹地を埋積する礫混じり粘土層の分布が押さえられ，同粘土層は低角逆断層沿いに楔状の分布形態を取ることが判明した。一方，電気探査の結果は地下水構造に大きく依存していることがわかり，この手法単独で地質構造を推定するのは困難であることがわかった。

地質調査所研究資料集 No. 248

奥村晃史・井村隆介・杉山雄一・松島信幸・寺平 宏（1996）

平成7年度活断層調査研究報告 No. 24 伊那谷断層帯低角逆断層の活動性評価に関する総合調査. 125 p.

内容紹介

本研究資料集は，伊那谷断層帯を構成する低角逆断層の活動性評価を目的として実施されたトレンチ調査（飯島町北村と飯田市上黒田の2箇所），S波振源による極浅層反射法弾性波探査（上黒田地区の2測線）及びボーリング調査（上黒田地区の2地点）の結果をまとめたものである。本調査の最も重要な成果は，北村トレンチにより伊那盆地西縁の岩間断層の活動履歴が明らかになったことである。同断層の最新活動は約6千年前以降に生じ，その一つ前の断層活動は約1万年前に起きたことが明らかになった。また，約6千年前以降の最新活動は約2300年前に生じた可能性が高いことが判明した。

地質調査所研究資料集 No. 249

奥村晃史・井村隆介・今泉俊文・澤 祥・東郷正美（1996）

平成7年度活断層調査研究報告 No. 25 糸魚川-静岡構造線活断層系のトレンチ掘削による活動履歴調査. 49 p.

内容紹介

本研究資料集は，糸静線活断層系の活動履歴解明を目的として実施された同活断層系北部2地点（白馬村神城及び大町市三日町），南部1地点（楡形町上宮地）のトレンチ調査の結果をまとめたものである。白馬村の神城断層トレンチでは，地下約4mにはほぼ水平な断層が露出し，完新世に少なくとも1回以上の断層活動があったと考えられた*。大町市における松本盆地東縁断層のトレンチでは，本断層が古墳時代以降-平安時代以前に最新活動を行った証拠が得られた。楡形町での市ノ瀬断層群の発掘では，数万年前の堆積物に撓曲変形が見られたが，断層は出現しなかった。

*別途実施した年代測定の結果，約3000年前に断層活動が生じ，さらに1500年前以降にも断

層活動が起きた可能性が高いことが判明した。

地質調査所研究資料集 No. 250

下川浩一・山崎晴雄・水野清秀・井村隆介(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 26 富士川断層系の物理探査等による活動性調査. 105 p.

内容紹介

本研究資料集は、富士川断層系の活動性評価を目的として実施された地形地質調査、入山瀬断層の重力探査、入山瀬、大宮、安居山の各断層を横断する測線での反射法弾性波探査とIP映像法電気探査の結果をまとめたものである。本探査の主な成果は以下の通りである。重力探査の結果、入山瀬断層の東側に正の重力異常域、西側に負の重力異常域が南北に延び、正負境界がほぼ同断層の通過位置に対応していることが判明した。また、反射法弾性波探査の結果、駿河湾北岸の吹上浜では、入山瀬断層に対応すると考えられる東落ちの断層が確認された。

地質調査所研究資料集 No. 251

下川浩一・山崎晴雄・水野清秀・井村隆介(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 27 富士川断層系のトレンチ掘削等による活動履歴調査. 49 p.

内容紹介

本研究資料集は、富士川断層系の活動履歴解明を目的として実施された大宮断層及び入山瀬断層のトレンチ調査と安居山断層等のオールコアボーリング調査の結果をまとめたものである。本調査の主な成果は以下の通りである。大宮断層のトレンチ調査の結果、同断層は約3千年前に活動したことが判明した。また、同断層は約1万年前-3,400年前の間にも活動した可能性が高く、活動間隔は7千年より短いと推定される。富士市松岡での入山瀬断層のトレンチ調査では断層は露出せず、ボーリング調査及び反射法弾性波探査の結果を考慮すると、トレンチ地点の西方を通過する可能性が高い。富士宮市青木のボーリング調査の結果、安居山断層の平均上下変位速度は千年当たり約6mであり、従来の推定よりもやや大きいことが明らかになった。

地質調査所研究資料集 No. 252

水野清秀・山崎晴雄・下川浩一・佐竹健治・井村隆介・吉岡敏和(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 28 国府津-松田断層のボーリング、物理探査等による総合地質調査. 69 p.

内容紹介

本研究資料集は、国府津-松田断層系の活動性の解明を目的として実施された地表地質調査、オールコアボーリング、反射法弾性波探査及び高密度比抵抗電気探査の結果をまとめたものである。本調査の主な成果は以下の通りである。地表地質調査の結果、本断層沿いに上部更新統の急傾斜帯や完新統を切る断層露頭が発見された。また、ボーリング、反射法弾性波探査の結果を総合すると、5-6万年前の箱根新期火砕流堆積物が断層を挟んで100mほど上下にずれていると推定され、平均上下変位速度は2-3m/千年程度と見積もられる。

地質調査所研究資料集 No. 253

水野清秀・山崎晴雄・下川浩一・佐竹健治・井村隆介・吉岡敏和(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 29 国府津-松田断層のトレンチ掘削等による活動履歴調査. 25 p.

内容紹介

本研究資料集は、国府津-松田断層系の活動履歴の解明を目的として実施された4地点(北から

大井町山田, 小田原市上曾我, 曾我谷津, 国府津)でのトレンチ調査の結果をまとめたものである。本調査の結果, 曾我谷津地区では本断層系が縄文時代中期-弥生時代末期に活動した証拠を得た。この断層活動の時期は, 国府津地区の地割れ・地すべりの形成時期(約2700-2800年前の縄文時代晩期)と一致し, 上曾我地区の地割れの形成時期(古墳時代以前)とも矛盾しない。このことから, 約2700-2800年前の縄文時代晩期に国府津-松田断層が活動したと考えられ, この活動が同断層の最新活動に当たる可能性が高い。

地質調査所研究資料集 No. 254

杉山雄一・遠藤秀典(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 30 首都圏の既存潜在活断層データの高度再解析(江戸川, 旧江戸川, 新中川). 113 p.

内容紹介

本研究資料集は, 首都圏の地下構造と潜在断層に関して, より高分解のデータを得ることを目的として実施された既存探査データの高度再解析結果をまとめたものである。首都圏の伏在活断層調査は, 科振費「首都圏直下の地震の予知手法の高度化に関する総合研究」により平成3年度から行われ, 旧江戸川, 新中川及び江戸川についてはマルチチャンネル音波探査データが既に取得されている。本研究では, これらのデータについて重合前マイグレーション, 深度変換, カラー出力等を含む高度再解析を実施した。その結果, ストリーマ受振中深度探査データについては, 地質学的な解釈が可能な限界深度が従来の約400mから約700mに向上した。また, バイケープル受振大深度探査データについては, 顕著な反射面による旧江戸川と江戸川の反射断面の対比が可能となった。

地質調査所研究資料集 No. 255

杉山雄一・遠藤秀典(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 31 首都圏直下の潜在活断層の深部構造調査(新中川). 46 p.

内容紹介

本研究資料集は, 首都圏の地下構造と潜在断層に関するデータ取得を目的として実施された新中川の大容量エアガンとバイケープル受振システムによる大深度音波探査の結果をまとめたものである。本調査の結果, 新中川では深度2100-2200m付近に先新第三紀基盤が認められ, 首都高速7号線南橋橋付近にある埋没谷の直下で下流側隆起の伏在断層が存在することが確認された。断層下流側のデータの質があまり良くないため不確実な点が残るが, 基盤の変位量は100m程度と推定された。なお, 新中川の探査データの高度解析(深度変換等)は, 本調査研究報告 No. 32の首都圏潜在活断層の補完調査及び高度解析(荒川, 新中川)で実施した。

地質調査所研究資料集 No. 256

杉山雄一・遠藤秀典(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 32 首都圏潜在活断層の補完調査及び高度解析(荒川, 新中川). 62 p.

内容紹介

本研究資料集は, 科振費による首都圏潜在活断層の研究では未調査のまま残された荒川の深部地下構造データを得ることを目的として実施された同川の大深度音波探査について報告すると共に, 荒川と新中川(平成7年度科振費予算で実施)の探査データについての高度解析結果をまとめたものである。荒川の音波探査データの高度解析により, 往復走時2.4秒(深さ約2600-2700m)-2.1秒(深さ約2300m)に先新第三紀基盤が存在し, 基盤深度は河口から上流側へ向

かって浅くなり、新小松川橋以北では逆に上流側へ深くなる事が判明した。また、同測線では明瞭な断層は発見されなかったが、基盤の傾斜方向が変換する新小松橋付近に基盤変位断層が存在する可能性が指摘できる。

地質調査所研究資料集 No. 257

栗田泰夫・角井朝昭(1996)

平成7年度活断層調査研究報告 No. 33 新潟地区における潜在活断層評価のためのボーリング掘削. 25p.

内容紹介

ボーリングの掘削は、越後平野南部に潜在する活断層の活動性評価を目的として、断層西側(隆起側)の三島郡与板町本与板地先で実施された。ボーリングは300m離れた2地点で掘削され、深度はそれぞれ70m及び100mである。本資料集には、両ボーリングの100分の1柱状図及び5千分の1位置図等を収録した。

地質調査所研究資料集 No. 258

村尾 智・久米 博・Gunchingiin DEJIDMAA (1996)

マイクロ XRF 法によるモンゴル産金粒子の微量成分評価. 27 p., 15 figs., 7 tables.

内容紹介

モンゴル国を代表する産金地帯であるボロー地区及びツァガンチュルト地区の金粒子をマイクロ XRF 法で分析した。その結果、両地区とも金は金銀比が非常に高く毒性の問題がある水銀をほとんど含まない事が判明した。モンゴル側が正確の評価を強く要請していた白金は全く含まれていないことも確認した。白金は含まないものの、高い金銀比を持つ事と Bi などのレアメタルを含有する事からモンゴル国の金粒子は高品質であると結論できる。

地質調査所研究資料集 No. 259

地質調査所 (1996)

平成7年度活断層研究調査概要報告書. 98p.

内容紹介

本報告書は平成7年度に実施された活断層の活動履歴及び活動性に関する研究調査の概要をまとめたものである。平成7年度の活断層研究調査は、主として平成7年度補正予算「阪神・淡路大震災に係わる活断層等の緊急調査」により実施された。活断層の活動履歴及び活動性に関する調査は、①野島断層履歴調査、②淡路島内未活動断層調査、③有馬-高槻構造線の活動履歴調査、④平野部伏在活断層 FS 調査、⑤要注意活断層調査の5テーマからなる。このうち、②淡路島内未活動断層調査では、同島北東岸の楠本・東浦・野田尾の3断層、中部の志筑断層と先山断層、南部の湊-本庄断層を調査対象とした。また、④平野部伏在活断層 FS 調査では、首都圏、大阪平野及び新潟平野を調査対象とした。⑤要注意活断層調査の対象は、伊那谷断層帯、富士川断層系及び国府津-松田断層の3活断層系である。また、工業技術院特別研究「活断層による地震発生ポテンシャル評価の研究」の中で、糸魚川-静岡構造線活断層系の活動履歴調査を実施した。なお、有馬-高槻構造線と伊那谷断層帯については、科学技術振興調整費「巨大地震災害軽減のための地震発生機構のモデル化・観測システム高度化に関する調査研究」によっても活動履歴と断層の地下構造に関する研究を行った。また、首都圏の伏在活断層調査は、同振興調整費「首都圏直下の地震の予知手法の高度化に関する総合研究」による研究と連携を取って実施した。本報告書には、補正予算関連の5テーマについて10編の概要報告、工業技術院特別研究関連の1テーマについて1編の概要報告を掲載した。これらの報告の中には科学技術振興調整費による研究成果も取り込んでいる。

地質調査所研究資料集 No. 2312

塚脇祐次・武市敏雄 (1953)

福井県地下資源調査第9班調査報告(石灰石・磁硫鉄鉱・長石). 34 p., 2 figs.

内容紹介

調査は1953年10月8日から10日間、福井県敦賀郡愛発村付近の石灰石、三方郡北西郷村日向付近の磁硫鉄鉱床、同郡南西郷村飯切山長石鉱床情報地について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2313

原口九萬・宗森一郎・岸田孝蔵 (1953)

兵庫県地下資源調査報告(浜坂・関宮・新井地区). 21 p., 1 fig.

内容紹介

浜坂町付近の温泉候補地及び砂鉄鉱床、関宮町付近の関宮・足坂・尾崎の各クロム鉄鉱床、新井地区の多々良銅鉱床について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2314

武市敏雄 (1953)

奈良県吉野郡川上村付近の地質および鉱床. 23 p., 3 figs.

内容紹介

調査は1953年9月5日から20日間、位置は奈良県吉野郡川上村入り之波、近鉄大和上市駅の南東直距約24 km。地質は古・中生層とそれを貫く石英斑岩。鉱床は水引(マンガン)・黒倉又(〃)・栃谷(〃)・川股(〃)、温泉は入之波・五色湯・湯谷について記載。またこの地区の河川の流量についても記述がある。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2315

清島信之・天川佳廣 (1953)

福井県南条郡木ノ芽鉄山地質鉱床調査. 17 p., 3 figs.

内容紹介

調査は1952年秋。位置は福井県南条郡今庄村二ツ屋、最寄り駅は北陸本線大桐。古生層に貫入した石英閃緑岩の接触鉱体鉱床。規模は傾斜延長約20 m、幅0.6-1 m。鉱石は主に磁鉄鉱。品位は36-70% Fe。確定鉱量約200トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2316

原口九萬 (1952)

島根県御崎山銅鉱床調査報告. 24 p., 2 figs.

内容紹介

調査は1952年。位置は島根県安濃郡佐比売村、最寄り駅は山陰本線石見太田。石英粗面岩中の割れ目充填鉱脈。鉱石は主に黄銅鉱、斑銅鉱を伴う。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2317

地下資源協会 (1951)

島根県那賀郡大麻鉄山調査報告. 13 p., 1 fig.

内容紹介

位置は島根県那賀郡井野村室谷、山陰本線折居駅の南東8.5 km。古生層と貫入した閃緑岩との接触交代鉱床。規模は走向延長40 m、傾斜延長8 m、幅平均0.6 m。鉱石は磁鉄鉱。残存鉱量135トン。(和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2318

辻岡加四雄・滝沢典夫・増沢敏夫・塚脇祐次(1951)

福井県地下資源調査報告. 43 p., 3 figs.

内容紹介

敦賀(タングステン)・弁天(鉛亜鉛)・金山(磁鉄鉱)・山東(〃)・三宅(マンガン)の各鉱床について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2319

原口九萬・土井啓司(1951)

岡山県地下資源調査第1班報告. 26 p., 2 figs.

内容紹介

調査は1951年11月下旬-12月上旬. 岡山県阿哲郡内の超塩基性火成岩中に産出する鉱床のうち, 高瀬(クロム)・吉田(〃)・大原(マンガン)・足立(耐火用蛇紋岩)・矢の峯(クロム)・犬石(銅鉛亜鉛) 田治部(マンガン)・田治部(石綿)・田治部(銅)・扇平(〃)・新庄(〃)の各鉱床について記載。(和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2320

羽田重吉・原田久光(1951)

岡山県下阿哲郡南東部及び上房郡北西部地下資源概査報告. 52 p., 2 figs.

内容紹介

調査は1951年. 範囲は岡山県阿哲郡本郷村から上房郡皆野町までの東西約15 km, 南北約5 km. 黒坂(磁鉄鉱)・花木(黒鉛)・本郷地区(大理石)・三谷(滑石)の各鉱床について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2321

原口九萬・竹内忠雄・高田政也・東 実(1951)

福井県地下資源調査第2班報告書(志目木・宝慶寺・真名川・大雲・巢原の各銅鉛亜鉛鉱山). 39 p., 2 figs.

内容紹介

位置は福井県大野郡上庄村及び西谷村. 京福電鉄大野三番駅の南南西直距10-16 kmの範囲. 閃緑岩中の割れ目充填銅鉛亜鉛鉱床のうち, 志目木・宝慶寺・真名川・大雲・巢原の各鉱山について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2322

原口九萬・辻岡加四雄(1953)

福井県地下資源調査第4班報告書(小浜湾付近). 24 p., 1 fig.

内容紹介

内外海鉱山 位置は福井県遠敷郡内外海村, 小浜市の北西海上7 km. 鉱床は花崗岩中に胚胎. 規模は走向延長60 m, 深さ15 m, 幅6 m. 鉱石は灰重石. 品位は平均3% WO_4 . 鉱量は17,556 トン. 若狭鉱山 位置は大飯郡本郷村犬見, 小浜線本郷駅の対岸. 塩基性岩の風化残留鉱床. 規模は厚さ平均5-6 m. 鉱石は褐鉄鉱・珪ニッケル鉱のほか肥鉄土・蛇紋岩・かんらん岩・クロム鉄鉱・砂鉄. 和田鉱山 同郡和田村, 小浜線若狭和田駅の南方. 鉱床はかんらん岩中に胚胎. 鉱石はクロム鉄鉱. 品位は20% Cr_2O_3 . (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2323

別所文吉・橋本克巳・福井三郎・原田久光 (1951)

奈良県地下資源調査報告. 48 p.

内容紹介

調査は1951年3月20日-28日. 川股鉍山 位置は奈良県吉野郡宗檜村西日裏, 和歌山県五条駅の南東27 km. 層状含銅硫化鉄鉍床. 鉍石は主に黄鉄鉍, 黄銅鉍を伴う. 第二宗山鉍山 同村茄子原本谷. 鉍床は輝緑凝灰岩中に胚胎. 鉍石は含マンガン鉄鉍. 品位は35% Fe, 8% Mn. 埋蔵量は5万トン. 宇井鉍山 同郡大塔村, 五条駅の南方22 km. 層状含銅硫化鉄鉍床. 鉍石は主に黄鉄鉍, 黄銅鉍を伴う. 品位は6% Cu. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2324

浜野一彦・塚脇祐次・土井啓司・磯巳代次・竹内忠雄 (1951)

島根県那賀郡井野・黒津両鉍床調査報告. 31 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1951年5月. 島根県那賀郡井野村及び黒津村, 山陰本線三保三隅駅の西南西10-12.5 km. 鉍床は三郡変成岩中又はそれを貫く角閃ひん岩との接触部に胚胎. 鉍石は主に磁鉄鉍・閃亜鉛鉍及び褐鉄鉍. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2325

土井啓司・高丸美津雄・熊谷博光 (1952)

兵庫県地下資源調査 (青草・新井・青倉・大乘の各銅鉛亜鉛鉍山). 55 p.

内容紹介

調査は1952年・青草鉍山 位置は兵庫県朝来郡生野町大字上生野, 播但線生野駅の北東方11.2 km. 鉍床は流紋岩中の割れ目充填鉍床. 規模は走向延長130 m, 幅平均1.3 m. 鉍石は主に黄銅鉍・孔雀石・閃亜鉛鉍・方鉛鉍. 推定鉍量14,300トン. 新井鉍山 位置は同郡山口村新井, 同線新井駅の南西直距1 km. 鉍床は千枚岩質粘板岩中の割れ目充填石英脈. 鉍石は黄銅鉍・閃亜鉛鉍・方鉛鉍. 青倉鉍山 同郡中川村奥多々良木, 同線新井駅の東方9.5 km. 凝灰角礫岩中の割れ目充填鉍床. 規模は走向延長30-40 m, 幅平均0.7 m. 推定鉍量は3万2千トン. 大乘鉍山 同村山本, 播但線新井駅の南西2.5 km. 緑色岩中の割れ目充填鉍床. 脈幅は平均1.2 m. 鉍石は自然金・輝銀鉍・黄銅鉍・孔雀石・閃亜鉛鉍・方鉛鉍. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2326

武市敏雄・矢野輝夫・天川佳廣 (1952)

福井県面谷銅鉛亜鉛鉍山調査報告. 18 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1952年7月15日-9月24日. 位置は福井県大野郡上穴馬村字持穴, 越美南線白鳥駅の西方約15 km. 石英粗面岩中の割れ目充填鉍床. 長さ3-20 mのレンズ状ないし芋状鉍体の集まり. 全体として約320 m, 幅1-2 m. 鉍石は主に黄銅鉍・閃亜鉛鉍. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2327

原口九萬・矢野輝夫・山本武次郎・阪齊勢一 (1953)

福井県雲川流域金銀銅鉛亜鉛鉍調査報告. 10 p., 1 fig.

内容紹介

真名川・文六・高屋の各鉍床 石英閃緑岩中の割れ目充填鉍床. 規模は走向延長35 m. 幅0.6 m. 鉍石は銅鉛亜鉛鉍. 温見・夜叉谷鉍山 古生層を貫く石英閃緑岩中の含金石英脈. 規模は

幅 25 cm. 鉱石は自然金, 銀鉱を伴う. 品位は 6-43 g/ton Au, 5-53 g/ton Ag. 笹又鉱山 鉱石は銅鉛亜鉛鉱. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2328

原口九萬・竹内忠雄 (1951)

大永銅鉱山調査報告. 34 p., 1 fig.

内容紹介

調査は 1951 年. 位置は広島県沼隈郡本郷村大字荒木の北東, 山陽本線松永駅の北方 6.5 km. 石英斑岩中の割れ目充填鉱脈. 幅は最大 1 m. 鉱石は主に黄銅鉱. 精鉱品位は 9-12% Cu. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2329

原口九萬・土井啓司 (1951)

京都府河守鉱山銅鉱床調査報告. 47 p., 10 figs.

内容紹介

調査は 1951 年. 位置は京都府加佐郡河守上村, 最寄り駅は山陰本線福知山. かんらん岩・蛇紋岩中の割れ目充填鉱脈. 規模は走向延長 800 m, 垂直方向 250 m, 幅 50-80 cm. 鉱石は主に黄銅鉱, 磁鉄鉱を伴う. 品位は 1.5-2% Cu. 鉱量は確定約 1 万 8 千トン, 推定約 1 万 4 千トン, 予想 1 万 1 千トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2330

武市敏雄・滝沢典夫 (1959)

兵庫県地下資源調査第 1 班調査報告 (敬長珪長石・八州銅硫化の各鉱山). 16p., 2figs.

内容紹介

調査は 1959 年. 敬長^{けいちょう} 鉱山 位置は兵庫県養父郡関宮町八木谷, 山陰本線八鹿駅の西南西直距約 14 km. 鉱床は蛇紋岩中の割れ目に胚胎. 鉱石は珪長石及び滑石. 珪長石の鉱量は推定 23,300 トン, 予想 12,700 トン. 八州^{やしま} 鉱山 位置は同町福定, 八鹿駅の西南西約 22.7 km. 第三紀中新世砂岩中の割れ目充填鉱床. 鉱石は硫砒鉄鉱・黄銅鉱・黄鉄鉱. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2331

松本隆一 (1950)

島根県地下資源調査第 2 班調査報告. 51 p.

内容紹介

調査は 1950 年 10 月 1 日-25 日. 島根県那賀郡・邑智郡・邇摩郡に分布する 26 箇所の金属・非金属鉱山について概要を記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2332

土井啓司 (1950)

島根県地下資源調査第 2 班調査報告 (2 の部). 64 p.

内容紹介

調査は 1950 年 10 月 1 日-25 日. 島根県那賀郡・邑智郡・邇摩郡に分布する 22 箇所の金属・非金属鉱山について概要を記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2333

松本隆一・土井啓司 (1950)

島根県地下資源調査第2班調査報告付図, 10 figs.

内容紹介

島根県那賀郡・邑智郡・邇摩郡に分布する金属・非金属鉱山の位置図 (5万分の1地形図に記入) を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2334

宗森一郎・北 卓治 (1953)

福井県地下資源第3班調査報告書 (野坂銅鉛亜鉛鉱山, 文室・牧谷の各鉛亜鉛鉱山). 36 p., 3 figs.

内容紹介

調査は1953年6月-7月。野坂鉱山 位置は福井県敦賀郡粟野村, 北陸本線粟野駅の南西直距2 km, 粘板岩中の中深成熱水鉱床。鉱石は主に黄銅鉱・閃亜鉛鉱・磁硫鉄鉱・黄鉄鉱。文室鉱山 位置は今立郡土池田村・味真野村, 南越鉄道五分市駅の南東5 km, 鉱床は古生層中に胚胎。鉱石は方鉛鉱・閃亜鉛鉱・黄銅鉱・磁硫鉄鉱・黄鉄鉱。牧谷鉱山 位置は今立郡北柚村牧谷, 北陸本線王子保駅の西南西直距6.5 km, 古生層中の中深成熱水鉱床。規模は走向延長12-35 m, 高さ6-20 m, 幅4-10 m。鉱石は磁硫鉄鉱・方鉛鉱・閃亜鉛鉱。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2335

成田英吉・小村良二ほか (1971)

滋賀県彦根東部地域マンガングル鉱床調査報告. 7 p., 2 figs.

内容紹介

調査は1968年度-1970年度。位置は滋賀県坂田郡米原町西円寺, 最寄り駅は近江鉄道鳥居本。鉱床は丹波群下部亜層の珪岩中に胚胎し16箇所産出。規模は走向延長最大160 m, 下部延長最大130 m。鉱石は珪酸マンガングル・二酸化マンガングル。(タイプ印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2336

北 卓治 (1954)

滋賀県御池含銅磁硫鉄鉱床調査報告. 27 p., 23 figs., 2 tables.

内容紹介

位置は滋賀県蒲生郡市原村字甲津畑, 近江鉄道八日市線日野駅の東方直距16 km, 古生層砂質ホルンフェルス中の中深成熱水鉱床。規模は走向延長50-250 m, 深度21-185 m, 幅0.3-0.7 m。鉱石は主に黄鉄鉱・磁硫鉄鉱・閃亜鉛鉱・黄銅鉱・方鉛鉱。品位は0.3-23.5% Cu, 11-25% S, 13-106 g/ton Ag。(謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2337

清島信之 (1951)

山口県滑地区蠟石鉱床, 佐波郡銅鉱床群, 秋穂地区タングステン鉱床調査報告. 8 p., 9 figs.

内容紹介

報告書は現存しない。滑鉱山蠟石鉱床関係の地質図及び坑内図, 引谷・銅谷の各銅山の鉱山図などを収録。

地質調査所研究資料集 No. 2338

著者不詳 (19XX)

島根県鉱床分布図. 2 figs.

内容紹介

島根県下の鉱床分布図(60万分の1)と主要工場・鉱山分布図(約100万分の1)を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2339

宮村 学(1962)

福井県大野郡和泉村野尻付近の石灰石鉱床について。13p., 4 figs.

内容紹介

位置は福井県大野郡和泉村野尻, 最寄り駅は越美北線大野, 又は京福電鉄大野。鉱床は輝緑凝灰岩中に胚胎。規模は走向延長約1500m, 幅平均90m。石灰石は灰白色ないし灰黒色。品位は48-54% CaO, 0.2-1.7% MgO, 0.2-0.8% Fe₂O₃, 0.006-0.027% P₂O₅, 0.9-5.3% SiO₂。予想埋蔵鉱量1億トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2340

岸田孝蔵・弘原海清・宗森一郎(1960)

昭和35年度兵庫県地下資源調査第6班報告書(梅谷・塚本の各蠟石鉱山)。9p.

内容紹介

調査は1960年12月12日-17日。位置は梅谷鉱山が兵庫県赤穂市有年町横山, 山陽本線有年駅の南西直距6km及び三石駅の東方直距6km。塚本鉱山が赤穂郡上郡町皆坂, 山陽本線上郡駅の西北西直距7.5km。ともに石英粗面岩中の蠟石鉱床。耐火度SK 27-28。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2341

辻岡加四雄・山本重幸・宮村 学・上田 敬(1960)

滋賀県犬上郡多賀町甲頭倉地区東部ドロマイト鉱床調査報告書。21p., 1 fig., 9 tables.

内容紹介

調査は1960年5月17日-23日。規模は走向延長約300m, 厚さ約30m。ドロマイト鉱床の下部は輝緑凝灰岩, 上位は石灰岩に漸移。品位は平均16.9% MgO, 36.3% CaO, 0.116% P。埋蔵鉱量は約56万トン。(謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2342

塚脇祐次・竹内忠雄(1953)

奈良県生駒郡生駒珪長石鉱床調査報告。22p., 2 figs.

内容紹介

位置は奈良県生駒郡北倭村北田原, 近鉄奈良線生駒駅の北方約6km。鉱床は黒雲母花崗岩中に塊状又はレンズ状に胚胎。鉱石は主に珪石, 長石を伴う。埋蔵量は珪石3万9千トン, 長石1万6千トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2343

平林万衛・深井正晴(1952)

福井県地下資源調査報告書(藤井・湯尾の各珪石鉱山)。24p.

内容紹介

藤井鉱山 位置は福井県南条郡今庄村, 北陸本線今庄駅を挟んで東西約2km。鉱床は千枚状珪岩層。規模は走向延長1000m, 高さ300m, 厚さ10-50m。品位は96-98% SiO₂, 1.2-1.9% Fe₂O₃, 0.3-0.8% Al₂O₃。湯尾鉱山 位置は同郡湯尾村, 北陸本線湯尾駅の東西約1km。鉱床は千枚状珪岩層。規模は延長300m, 高さ100m, 幅300m。鉱石及び品位は藤井鉱山に同じ。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2344

塚脇祐次・竹内忠雄・瀧沢典夫 (1953)

福井県丹生郡安養寺陶石鉱床調査報告. 17 p., 1 fig.

内容紹介

位置は福井県丹生郡白山村安養寺, 北陸本線武生駅の西方直距約 8 km. 鉱床は石英粗面岩の浅熱水変質によって生成. 規模は走向延長 3300 m, 幅平均 700 m. 鉱石は陶石. 耐火度は大半が SK 26-33. 推定埋蔵量は 1 億 8 千万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2345

妙中鉱業所 (1945)

島根県大原郡東山水鉛鉱山. 6 p.

内容紹介

調査は 1945 年 7 月. 位置は島根県大原郡阿用村字川井, 最寄り駅は山陰本線出雲大東. 鉱床は花崗岩中の石英脈に胚胎. 規模は幅 6-15 cm. 鉱石は水鉛鉱. 品位平均 2%. 推定鉱量 18 万トン. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2346

高島信之 (1953)

福井県下含チタン砂鉄鉱床調査報告. 28 p., 4 figs.

内容紹介

福井県三国・杉津・加斗・高浜の各地区の分布・品質・鉱量について記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2347

加藤 信 (1949)

島根県大麻鉄山調査報告. 13 p., 1 fig.

内容紹介

調査は 1949 年 7 月 28 日. 位置は島根県那賀郡大麻村, 山陰本線折居駅の東南東直距約 3.5 km. 古生層と閃緑岩との接触交代鉱床. 鉱石は主に磁鉄鉱. 品位 55% Fe. 可採鉱量 5 万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2348

武市敏雄・団喜三郎 (1953)

福井県大野郡石灰石鉱床調査. 25 p., 4 figs.

内容紹介

北陸石灰工業採石場, 及び下若生・石徹・谷戸口の各鉱床について規模・品位・鉱量などを記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2349

著者不詳 (1952)

鳥取県気高郡鹿野鉱山絹雲母鉱床調査報告. 64 p., 34 figs., 3 tables.

内容紹介

位置は鳥取県気高郡鹿野, 山陰本線浜村・宝木両駅の南方約 5 km. 鉱床は浅熱水型絹雲母-黄鉄鉱脈. 規模は走向延長 5-30 m, 深さ 20-60 m, 幅平均 1 m. 埋蔵鉱量は絹雲母 6900 トン, 黄鉄鉱 1800 トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2350

塚脇祐次(1952)

京都府熊野郡下陶石鉱床調査報告-甲山陶石及び油池陶石について. 27 p., 2 figs., 6 tables.

内容紹介

甲山鉱山 位置は京都府熊野郡神野村甲山, 宮津線久美浜駅の東方4 km. 鉱床は石英粗面岩の浅熱水変質作用で生成. 規模は走向延長200 m, 幅35 m. 鉱石は石英(30-50%), ガラス(40-60%), 絹雲母(10%)から成る. 推定埋蔵鉱量17万8千トン. 油池鉱山 位置は甲山鉱山の西方0.5 km. 規模は走向延長900 m, 幅約130 m. 推定埋蔵鉱量337万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2351

塚脇祐次・吉本 淳(1961)

滋賀県信楽地区アプライト地質鉱床調査報告(森・畑長石・郡林長石の各鉱山). 6 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1961年10月23日-11月1日. 位置は滋賀県甲賀郡信楽町, 信楽線信楽駅の西方直距約3.5-5 kmの一带. 鉱床は黒雲母花崗岩中のアプライト. 森・畑長石・郡林長石の各鉱山について概説. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2352

塚脇祐次・吉本 淳(1960)

滋賀県信楽地区アプライト地質鉱床調査報告(雲井・日産信楽・八良谷の各鉱山). 9 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1960年10月25日-31日. 位置は滋賀県甲賀郡信楽町, 雲井鉱床が信楽線信楽駅の北西直距約3 km, 日産信楽鉱山が同南東直距約1 km, 八良谷鉱山が同じく1.5 km. 鉱床は黒雲母花崗岩中のアプライト. 雲井・日産信楽・八良谷の各鉱山について概説. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2353

塚脇祐次・吉本 淳(1966)

滋賀県下のアプライト質長石鉱床第2次調査報告. 23 p., 1 fig., 5 tables.

内容紹介

森・乾長石朝宮・大久保・信楽・大福第一(以上, 滋賀県甲賀郡信楽町)・三栄(同県栗太郡栗東町)の各鉱山について記載. 試料の化学分析値と耐火度・年度別生産量などの表がある. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2354

原口九萬・影山邦夫(1949)

岡山県地下資源調査報告(立正蠟石・金川黒鉛・佐野磁硫鉄鉱・帯江銅の各鉱床). 33 p., 3 figs.

内容紹介

立正鉱山 岡山県御津郡上建部村, 津山線福渡町の北北西6 km. 第三紀初期の石英粗面岩の浅熱水性鉱体鉱床. 規模は延長30 m, 深さ10 m, 幅15 m. 鉱石は主に葉蠟石, ダイアスポアを伴う. 耐火度は上鉱SK 33-34, 中鉱SK 31-32, 下鉱SK 30以下. 金川鉱山 位置は同線金川駅の西方, 妙見山の西麓. 鉱床は粘板岩中に胚胎. 脈幅は1-2 m. 鉱石は黒鉛. 鉱量は約5千トン. 佐野鉱山 位置は同県赤磐郡佐野. 古生層粘板岩と花崗岩との接触鉱体鉱床. 鉱石は磁硫鉄鉱・亜鉛鉛鉱, 銅鉱を伴う. 磁硫鉄鉱の品位は平均28% S. 鉱量は1万トン. 帯江鉱山 位置は同県都窪郡中庄村, 山陽本線中庄駅の南西3 km. 鉱床は佐野鉱山と同様. 脈幅は0.3-2 m. 鉱石は主に黄銅鉱. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2355

塚脇祐次・梅垣嘉治 (1949)

岡山県下地下資源調査報告 (御津郡北部地区). 49 p., 5 figs.

内容紹介

調査は1949年. 位置は岡山県御津郡津賀村・円城村・新山村・江与味村, 津山線福渡駅の西ないし北西10-14kmの一带. 江与味 (銅磁硫鉄鉱)・金倉 (銅)・新山 (亜鉛)・加茂 (珪石)・塩谷 (銅磁硫鉄鉱) の各鉱山について記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2356

別所文吉 (1949)

岡山県後月郡下地下資源調査報告. 27 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1949年7月. 岡山県後月郡三原村の村入熊迫 (石炭)・東村入 (〃)・西村入 (〃), 同村村入西方の中倉 (銅)・三原 (〃)・柿谷 (〃), 同郡共和村の共和 (石炭)・鈴木 (〃), 同村青梅の明治 (含銅硫化鉄), 同村梅木の日鉱梅木 (〃) の各鉱山について記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2357

塚脇祐次・横田浩致・浅井正晴 (1955)

昭和30年度滋賀県高島郡下地下資源調査報告 (マンガン). 15 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1955年. 滋賀県高島郡高島町・安曇川町・朽木村, 江若鉄道安曇^{あづ}駅の西方約5-10kmの一带. 黒山・御宮前・第二主有谷・高面の各マンガン鉱山について記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2358

塚脇祐次・浅井正晴 (1956)

昭和31年度滋賀県地下資源調査報告書 (マンガン). 24 p., 2 figs., 1 table.

内容紹介

調査は1956年11月6日から10日間. 位置は滋賀県高島郡朽木村, 江若鉄道安曇^{あづ}駅の西方約10kmの一带. 熊の畑・立戸・立戸第一・麻生・荒谷・八幡谷の各鉱山について記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2359

武市敏雄 (1956)

奈良県宇陀郡下水銀鉱床調査報告. 20 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1956年. 位置は奈良県宇陀郡宇太町, 近鉄橿原駅の南南東. 鉱床は黒雲母花崗岩中の割れ目充填鉱脈として胚胎. 脈幅は10-20cm. 鉱石は主に辰砂. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2360

田中 悟 (1944)

和歌山県東牟婁郡蔵土銅鉱山調査報告. 14 p., 2 figs.

内容紹介

調査は1944年10月26日. 位置は和歌山県東牟婁郡三尾^み川村大字蔵土^{くらつ}. 鉱床は第三紀石英粗面岩に伴う. 規模は走向延長125m, 高さ100m, 幅2.2m. 鉱石は主に黄銅鉱. 推定鉱量約5万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2361

北日本鉱業(株)吉床鉱山(1945)

島根県大原郡吉床輝水鉛鋳鉱山. 8p.

内容紹介

調査は1945年7月. 位置は島根県大原郡阿用村字川井, 木次線出雲大東駅から約6km. 鋳床は石英斑岩中の割れ目充填鋳脈. 脈幅3-50cm. 鋳石は輝水鉛鋳・硫化鉄鋳. 品位は平均3.0%. 鋳量は確定5千トン, 推定1万トン. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2362

北 卓治・丸山定夫(1953)

兵庫県神崎郡福山蠟石鋳山精査報告書. 24p., 5 figs.

内容紹介

調査は1953年10月13日-22日. 位置は兵庫県神崎郡粟賀村. 石英粗面岩の変質による陶石鋳床. 変質作用の形式及び累帯構造などについて記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2363

北 卓治・滝沢典夫(1953)

兵庫県柘原明礬石鋳山及びその付近の蠟石鋳床について. 24p.

内容紹介

調査は1953年11月12日-21日. 位置は兵庫県神崎郡長谷村柘原, 播但線生野駅の西北西直距5km. 新第三紀中新世ネバダ石質石英粗面岩の交代鋳床. 鋳石はカリ明礬石・葉蠟石・ダイヤスポア. 大沢・森本の各蠟石鋳山についても記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2364

清島信之(1953)

兵庫県宍粟郡千種鉄鋳床調査報告. 15p., 1 fig.

内容紹介

調査は1953年9月8日-13日. 位置は兵庫県宍粟郡千種村, 最寄り駅は姫新線徳久. 石英粗面岩中に胚胎する割れ目充填鋳脈. 延長800mにわたって4つの露頭がある. 斜め延長120m, 幅1-3m(佐野荒尾鋳床). 鋳石は主に磁鉄鋳. 品位は40-45% Fe. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2365

武市敏雄・滝沢典夫・宮川彦一郎(1953)

滋賀県地下資源調査第1班調査報告(石灰石). 13p., 3 figs.

内容紹介

調査は1953年11月24日から8日間. 位置は滋賀県犬上郡多賀町後谷, 東海道本線彦根駅の東方直距約5km. 野沢・長岡・多賀・大滝の各石灰石鋳山について記載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2366

松尾五郎(1945)

島根県三瓶水鉛鋳山現況報告書. 8p.

内容紹介

調査は1945年7月20日. 位置は島根県邑智郡粕淵村大字湯抱, 最寄り駅は山陰本線石見大田, 湯抱温泉から2km. 花崗岩中の割れ目充填鋳脈. 規模は走向延長200-300m, 幅0.1-1m. 鋳石は水鉛鋳. 品位は平均2% Mo. 鋳量は確定5千トン, 推定2万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2367

報国鉱山 (1945)

島根県報国鉄水鉛鉱山現況報告書. 5 p.

内容紹介

調査は1945年7月. 位置は島根県八束郡意東村大字上意東, 最寄り駅は山陰本線揖屋. 鉱床は古生層と花崗岩の接触部に胚胎. 規模は走向延長200 m. 鉱石は磁鉄鉱(幅6-10 m)及び水鉛鉱(0.3-1 m). 品位は磁鉄鉱45-65%, 水鉛鉱平均1%. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2368

鐘淵工業 (1946)

島根県那賀郡井野鉄鉱山現況に就いて. 4 p.

内容紹介

調査は1946年4月. 位置は島根県那賀郡井野村大字井野, 山陰本線三保三隅から13 km. 鉄鉱石を産出. 1945年度下期の生産量22,262トン, 同出鉱量18,172トン. 出鉱先日鉄八幡製鉄所. この文書は, 鐘淵工業(株)鉱山部(大阪市)から商工省地下資源調査所西部支部(岡山県津山市)に宛てられた書簡. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2369

青原第一鉱業所 (1945)

島根県青原第一マンガン鉱山. 9 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1945年7月. 位置は島根県鹿足郡青原村大字富田, 山口線青原駅から5 km. 鉱床は古生層中の珪岩に胚胎. 鉱石はマンガン鉱. 品位は精鉱40-50% Mn. 鉱量は確定2万トン, 推定3万5千トン. 過去の出鉱量1万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2370

日原鉱業 (194X)

島根県左鎧銅山調査報告書. 7 p.

内容紹介

位置は島根県鹿足郡日原村割東手, 最寄り駅は山口線日原. 第三紀安山岩の活動に伴う割れ目充填鉱脈. 規模は延長600 m, 高距7 m, 幅0.6 m. 鉱石は金・銀・銅. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2371

御碕鉱山 (1945)

島根県御碕銅鉱山現況報告書. 8 p., 2 tables.

内容紹介

調査は1945年7月. 位置は島根県安濃郡佐比売村大字池田, 最寄り駅は山陰本線石見大田. 鉱石は銅鉱(品位2-7%)・水鉛鉱(0.3%)・亜鉛鉱(2.3%). 推定鉱量は銅鉱及び水鉛鉱それぞれ100万トン, 亜鉛鉱10万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2372

北 卓治・矢野輝夫・浅井正晴 (1954)

滋賀県地下資源調査第2班御池・向山鉱山付近磁硫鉄鉱床調査報告. 20 p., 10 figs., 2 tables.

内容紹介

調査は1953年-54年. 位置は滋賀県蒲生郡市原村字甲津畑. 中深熱水成鉱脈鉱床. 鉱石は黄鉄

鉍・磁硫鉄鉍・閃亜鉛鉍・黄銅鉍・方鉛鉍. 鉍脈の構造, 鉍石の生成順序などについて記載.
(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2373

岩生周一・安斎俊男・岡野武雄(1950)

丹波地区の炉材珪石鉍床調査報告要約(付 飯盛及び丹比の炉材珪石概査報告). 106 p., 3 figs.

内容紹介

兵庫県水上郡美和村酒梨・市島地区, 同幸世村鴨内, 同柏原町, 多紀郡畑村・村雲村・大芋村地区, 京都府天田郡川合村川合・芦洲・三俣地区, 船井郡殿田地区, 北桑田郡山国地区, 福井県品川飯盛鉍山, 同若狭鉍山, 鳥取県丹比(若桜)地区の炉材珪石鉍床について記載.(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2374

塚脇祐次・柿谷 悟・平野敏三・寺本武磨・西尾登志雄・西尾千秋・松本修三良・上田 敬
(1965)

滋賀県信楽町地域の粘土鉍床調査報告. 59 p., 10 tables.

内容紹介

位置は滋賀県信楽町・小原村・朝宮村及び京都府相楽郡湯船村にわたる東西約9 km, 南北約2.5 kmの範囲. 鮮新世ないし更新世の地層の下部層に産出する蛙目・木節・実土の各粘土の推定鉍量・化学成分・耐火度・収縮率などについて記載.(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2375

塚脇祐次・竹内忠雄・長谷川仁男(1959)

兵庫県出石陶石鉍床調査報告. 15 p.

内容紹介

調査は1959年11月11日-20日. 位置は兵庫県出石郡出石町, 山陰本線豊岡駅から15.4 km, 江原駅から12 km, 八鹿駅から13 km. 陶石鉍床は石英粗面岩中に脈状に胚胎. 鶏塚・柿谷・日野辺の各鉍床の間1.5 km 連絡している. 脈幅は3-6 m.

地質調査所研究資料集 No. 2376

塚脇祐次・長谷川仁男(1959)

兵庫県出石郡チモト長石鉍山調査報告. 7 p.

内容紹介

旧称三原長石鉍山. 位置は兵庫県出石郡但東町三原, 蛇紋岩を貫いたペグマタイト鉍床. 規模は走向延長35-40 m, 幅20 m. 鉍石は長石. 耐火度SK 11. 化学分析値がある.(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2377

北 卓治・土井啓司(1951)

広島県地下資源調査第5班調査報告. 58 p., 17 figs.

内容紹介

調査は1952年1月25日-2月12日. 輛(鉄マンガ)・大門(〃)・金丸(銅鉛亜鉛)・父尾(〃)・大師(鉄マンガ)・金明(銅)・可部(銅亜鉛)・日浦村旧抗(銅鉛亜鉛)・戸山(マンガ)・木野(〃)・大野(鉄マンガ)の各鉍山について記載.(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2378

塚脇祐次・武市敏雄(1952)

広島県地下資源調査報告(第4班). 128 p., 17 figs., 1 table.

内容紹介

調査は1952年1月-2月. 室木坪(金)・細谷(銅)・楮須(〃)・釜淵(〃)・金堀(〃)・棒谷(〃)・末光(〃)・高鉢真平(〃)・末光(銅鉛亜鉛)・長畑(〃)・山家(マンガン)・京丸(鉄)・大道山(〃)・西城(〃)・吉原(硫化鉄鉱)・米山谷(〃)・背心谷(褐鉄鉱)・畑(磁硫鉄鉱)・深(硫化鉄鉱)・棒谷(石灰石)・末光(〃)・西山(〃)・白崎(〃)・広島化工(〃)・小坪(〃)・寺谷(珪長石)・唐松山(〃)・長野山(〃)・枝組(〃)・定ヶ原(〃)・別所(〃)・河頭(〃)・向山(珪砂)・仏通寺(〃)・畑(珪石)・末光(〃)・棒谷(螢石)・竜王(〃)・堀川(陶石)・広谷(カオリン)の各鉱床, 及び湯迫・原田の各鉱泉について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2379

著者不詳(1951)

広島県地下資源調査報告(第2班). 87 p., 1 table.

内容紹介

調査は1951年. 広島県双三郡の砂鉄・硫化鉄, 及び比婆郡の銅・蠟石の各鉱床, 高田郡の大谷(銅鉛亜鉛)・鷹山(〃)・芸陽(〃)・長蛇ヶ原(銅)・長谷(〃)・銅床(〃)・横山(銅硫化)・安佐(水鉛)の各鉱山について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2380

北 卓治・武市敏雄(1951)

広島県地下資源調査第3班報告. 51 p., 7 figs.

内容紹介

調査は1951年. 大仙(マンガン)・重入(銅)・大父金(銅鉛亜鉛)・広瀬(〃)・広岡(銅硫化)・馬乗(銅亜鉛)・赤坂(銅鉛亜鉛)の各鉱山について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2381

藤田 純・草開勝治・矢野輝夫・北 卓治(1951)

福井県地下資源調査報告書第2班 長野・荷暮各銅鉱山. 22 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1951年. 最寄り駅は京福電鉄大野三番町. 「中竜南部鉱床群」と呼ばれる長野・荷暮の各銅鉱山について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2382

大阪鉱山保安監督部(1970)

奈良県宇陀川水系における水銀分布に関する地質調査報告書. 25 p., 4 figs.

内容紹介

宇陀川水系の水銀自然汚染について, 水銀鉱床地帯の地質的特徴と水銀含有量, 河川堆積物中の水銀の挙動と有機水銀などについて記載。(活版印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2383

大阪通産局鉱山部業務課(1951)

昭和26年度福井県地下資源調査第4班調査結果報告 坂東鉛亜鉛鉱山・宅良マンガン鉱山. 26 p.

内容紹介

調査は1951年. 坂東鉱山 位置は福井県大野郡北郷村字坂東島, 最寄り駅は京福電鉄市島又は

小舟渡。鉱床は石灰岩と花崗岩との接触部に胚胎。規模は走向延長8-20m, 傾斜延長9-30m, 幅0.3-4.0m。鉱石は方鉛鉱・閃亜鉛鉱・黄銅鉱・磁硫鉄鉱。品位は2-19% Pb, 2-21% Zn, 0.1-1.1% Cu。残存推定鉱量6千トン。宅良鉱山 位置は同県南条郡宅良村字高倉, 最寄り駅は北陸本線今庄又は冠山。鉱床は千枚岩質珪岩又は粘板岩中に胚胎。鉱石は硬マンガン鉱。品位は29-49% Mn, 5-35% SiO₂。鉱量は推定1050トン, 予想2320トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2384

別所文吉・神谷義夫・田中弘蔵・仲田藤吉(1950)

島根県美濃・鹿足郡地下資源調査報告。139p.

内容紹介

調査は1950年。鉱床及び鉱泉55箇所を優・良・可・不可に評価して記載。良以上のものは、亀地(鉄)・都茂(雑鉱)・丸山(〃)・浜辺(珪長石)・城山(〃)・神田(赤白珪石)・青原(石灰石)・吹野(〃)・笹目(赤白珪石)・柿木(鉱泉)・木部谷(〃)・立戸(〃)・小山(マンガ)・大蔵(雑鉱)・笹ヶ谷(〃)(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2385

著者不詳(19XX)

岡山県地下資源第1次調査摘要。5 tables.

内容紹介

岡山県下約50鉱山の概要を示す一覧表。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2386

京都大学班(19XX)

岡山県真庭郡南部鉱床の一覧。24p.

内容紹介

岡山県真庭郡の台金屋(銅鉛亜鉛)・金山谷(〃)・田原(〃)・河内(〃)・笹向山(〃)・茂見尾(〃)・邑野(〃)・兼秀(〃)・大津(〃)・久勝(〃)・名草(〃)・金山(〃)・観音寺(〃)・鳴林(〃)・日野上(〃)・金松(〃)・小谷(〃)・別所(〃)・旭(〃)・田口(〃)・鍋谷(水鉛)・清水寺(クロム)・山生(鉄)の各鉱床について概要を記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2387

上治寅次郎(19XX)

岡山県勝田郡地下資源調査梗概。16p.

内容紹介

岡山県勝田郡の北坂(石炭)・豊国(〃)・植月(〃)・高根(〃)・勝豊(銅鉛亜鉛)・勝英(〃)・真加部(銅硫化)・大盛(銅)・碓谷(鉛亜鉛)・金原(亜鉛銅)・八幡(銅)・稲荷山(亜鉛)・黒谷(銅)・国盛(銅)・豊国(〃)・大生(硫化鉄)の各鉱床について概要を記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2388

原口九萬(1952)

島根県永輝銅鉛亜鉛鉱山地質鉱床調査報告。31p.

内容紹介

調査は1952年。位置は島根県簸川郡山口村字佐津目, 最寄り駅は出雲鉄道出雲須佐。鉱床は石英粗面岩中の割れ目充填脈。規模は走向延長最大1300m, 幅平均0.15m。鉱石は黄銅鉱・斑

銅鉱・方鉛鉱・閃亜鉛鉱・黄鉄鉱。品位は3-15% Cu, 0.1-5.2% Pb, 7.5-9.4% Zn。鉱量は確定3560トン, 推定3151トン, 予想2520トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2389

春本篤夫・吉沢 甫・早瀬一一・中山 勇・赤塚九兵衛(1949)

岡山県真庭郡南部鉱床調査報文。120 p.

内容紹介

調査は1949年7月18日-27日。岡山県真庭郡の銅鉛亜鉛・鉄・クロム・石灰岩・水鉛・マンガン・石灰岩・蠟石の各鉱床について概要を記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2390

塚脇祐次(1952)

福井県丹生郡及び武生市の陶石鉱床調査報告(第1報)。23 p.

内容紹介

調査は1952年。福井県丹生郡及び武生市に分布する安養寺・天王川・兼友・陶谷・萩野・池ノ上・愛宕山の各陶石鉱床について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2391

塚脇祐次(1952)

福井県丹生郡及び武生市の陶石鉱床調査報告。80 p.

内容紹介

調査は1952年。福井県丹生郡及び武生市に分布する安養寺・天王川・兼友・陶谷・萩野・池ノ上・愛宕山の各陶石鉱床について記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2392

千藤忠昌(194X)

紀州大勝鉱山コバルト鉱床調査報告。23 p.

内容紹介

調査は太平洋戦争中。位置は和歌山県東牟婁郡北山村, 最寄り駅は紀勢本線新宮市。鉱床は中生層泥岩に貫入した半花崗岩質石英脈中に産出。規模は走向延長10-20m, 傾斜延長10-20m, 幅5-56cm。鉱石は主に硫化物から成る。品位は0.51-0.61% Co, 0.03-0.65% Ni。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2393

原口九萬・原田久光(1951)

岡山県経ヶ丸重石鉱山地質鉱床調査報告。32 p., 1 fig.

内容紹介

位置は岡山県後月郡井原町の西方の東西5km 南北3km, 最寄り駅は山陽本線福山。鉱床は花崗岩中の石英脈に胚胎。規模は延長40-100m, 深さ20-50m, 幅20-30cm。鉱石は主に鉄マンガン重石。品位は1-2% WO₃。推定鉱量約4千トン。(和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2394

武市敏雄(1954)

京都府榎原含銅磁硫鉄鉱山周辺地質鉱床調査報告。12 p.

内容紹介

調査は1954年12月15日-24日。位置は福知山市の南西約9km。粗面岩質凝灰岩中の割れ目

充填鉍脈。規模は走向延長 100-220 m, 傾斜延長 90-150 m, 幅 0.3-1 m。鉍石は磁硫鉄鉍・黄銅鉍, 少量の黄鉄鉍・閃亜鉛鉍・方鉛鉍を伴う。品位は 29-52% Fe, 1-2% Cu, 12-34% S。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2395

原口九萬・竹内忠雄(19XX)

兵庫県野瀬谷マンガン鉍床調査報告。15 p.

内容紹介

位置は兵庫県水上郡大路村野瀬谷, 山陰本線黒井駅の東北東 15 km。鉍床は秩父古生層チャート中に胚胎。規模は走向延長 30 m, 厚さ平均 60 cm。鉍石は二酸化マンガン鉍・炭酸マンガン鉍。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2396

原口九萬(1954)

兵庫県金蔵鉍山磁硫鉄鉍床調査報告。12 p.

内容紹介

調査は 1954 年。位置は兵庫県多可郡松井庄村字豊部, 最寄り駅は加古川線西脇。石英粗面岩中の割れ目充填鉍脈。規模は幅平均 20 cm 最大 1.5 m。鉍石は主に磁硫鉄鉍, 黄銅鉍を伴う。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2397

原口九萬・塚脇祐次(1952)

滋賀県溪井長石鉍床(鈴鹿・新平津両鉍床)調査報告。11 p.

内容紹介

調査は 1952 年。鈴鹿鉍床 位置は大津市石山平津町鈴鹿, 石山寺の南西 5 km。鉍床は黒雲母花崗岩中にレンズ状に胚胎。規模は走向延長 40 m, 深度平均 10 m, 幅平均 1.5 m。鉍石は長石で, 珪石との量比は 7:3。白色陶磁器用原料。埋蔵量は 1560 トン。新平津鉍床 位置は同市南郷町の南西直距 1.3 km。鉍床の産状は鈴鹿鉍床に同じ。規模は長軸延長 55 m, 短軸同 30 m, 高さ平均 13 m。長石と珪石の量比は平均 5:5。耐火度 SK 8-9。白色陶磁器用原料。埋蔵量 55,700 トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2398

北 卓治・武市敏雄・竹内忠雄(1951)

島根県五十猛地区石見鉍山調査報告。41 p.

内容紹介

調査は 1952 年。位置は島根県^{いそたけ}邇摩郡五十猛村字畑井, 山陰本線五十猛駅の南方約 1 km。第三紀石英粗面岩を交代した金銀鉍床。平均品位は 1 g/ton Au, 92.57 g/ton Ag。鉍量は確定 12,420 トン, 推定 37,260 トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2399

原口九萬・武市敏雄(1952)

岡山県井原重石鉍山地質鉍床調査報告。16 p.

内容紹介

調査は 1952 年。位置は岡山県後月郡井原町の西方, 最寄り駅は井笠鉄道井原。鉍床は花崗岩に胚胎。規模は走向延長 20-90 m, 深さ 20-50 m, 幅 0.2 m。鉍石は鉄マンガン重石。品位は 0.7-

2.0% WO₃. 鉍量約4千トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2400

未利用鉄資源近畿委員会 (1954)

近畿地方磁硫鉄鉍主要鉍産地一覧. 18 p., 1 fig.

内容紹介

中竜・野坂・文室・牧谷・福良・河守・隆盛・妙見・川迫・御池・鮎河・卯之戸・神立・黒見川・道場川の各磁硫鉄鉍山について概要を記載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2401

山田節三 (1943)

和歌山県熊野地方銅鉍山調査報告. 33 p.

内容紹介

調査は1943年7月. 円満寺・色川・那智・東洋那智・天満・高原・勝浦・佐野・六貫谷・上長井・田並の各銅鉍床について記載。(和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2402

上野三義・梅本 悟 (1951)

島根県山佐掛合地区並びに三瓶鉍山のモリブデン鉍床概査報告 (付 山佐地区の硫化鉄). 32 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1951年2月28日から30日間. 山佐・上山佐・天狗・神谷・東山・清久・太陽大東・佐世・小馬木・掛合・大佐・掛合・松笠・三瓶の各モリブデン鉍床について概要を記載。(タイプ印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2403

今井鉍業 (1958)

加蘇マンガン鉍山概要. 10 p., 2 figs.

内容紹介

鉍山の説明資料. 位置は栃木県鹿沼市上久我, 日光線鹿沼駅の西方約16 km. 鉍床は秩父古生層中に胚胎. 規模は走向延長240 m, 傾斜延長257 m, 厚さ最大1.2 m. 鉍石は主に菱マンガン鉍・テフロ石・バラ輝石, ウラン鉍を伴う. 探鉍・採鉍・選鉍・生産実績・主要設備などについて概説。(活版印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2404

横田鉍山 (1965)

福島県横田鉍業所概況 (黒鉍式鉍床). 28 p., 3 figs.

内容紹介

鉍山の説明資料. 位置は福島県南会津郡朝日町及び只見町, 会津線会津横田駅直近. 新第三紀中新世流紋岩類に伴う黒鉍式鉍床. 規模は長軸250 m, 短軸150 m, 厚さ平均10 m. 鉍石は主に黄銅鉍・閃亜鉛鉍・方鉛鉍, 重晶石を伴う. 探鉍・採鉍・選鉍・生産実績・主要設備などについて概説. 「横田鉍山概要」(1959)も収録。(和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2405

仙人製鉄所 (1935)

仙人鉄鉱山並びに仙人製鉄所明細及び復興目論見書. 40 p.

内容紹介

仙人鉄鉱山と仙人製鉄所の沿革及び概要について記述. (活版印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2406

仙人製鉄所(19XX)

仙人鉄鉱山. 20 p.

内容紹介

位置は岩手県和賀郡湯田村・岩崎村・横川目, 最寄り駅は北上線と賀仙人. 角閃花崗岩と石灰岩との接触部に産出するスカルン鉄床. 鉄石は主に赤鉄鉱. 品位は45-64% Fe. 1900年-23年の生産量は約16万6千トン. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2407

商工省鉄山局(1931)

仙人鉄鉱山鉄鉱調査概報. 9 p.

内容紹介

位置は岩手県和賀郡湯田村・岩崎村・横川目, 最寄り駅は北上線と賀仙人. 角閃花崗岩と石灰岩との接触部に産出するスカルン鉄床. 鉄石は主に赤鉄鉱. 品位は45-64% Fe. 1900年-23年の生産量は約16万6千トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2408

松岡弁治郎・伊原敬之助(1939)

群馬県甘楽郡小坂鉄山鉄床調査報告. 24 p., 4 figs.

内容紹介

調査は1939年2月. 位置は群馬県下仁田町の北方, 上信電鉄下仁田駅の北北西約2 km. 石英粗面岩に伴う接触交代鉄床. 鉄石は主に磁鉄鉱. 品位は54-63% Fe. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2409

伊原敬之助(1937)

福島県石城郡入遠野・石住鉄鉱床予察調査報告. 13 p., 1 fig.

内容紹介

位置は福島県石城郡入遠野村, 常磐線湯本駅の西方約20 km. 鉄床は含鉄珪質岩の鉄鉱に富む部分. 規模は走向延長200-400 m, 高さ70-100 m, 厚さ20 m. 鉄石は主に磁鉄鉱. 品位は43-56% Fe. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2410

伊原敬之助(1938)

北海道暑寒別岳鉄鉱区鉄床予察調査報告. 12 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1938年9月中旬の3日間. 位置は北海道石狩国樺戸郡新十津川村, 函館本線滝川駅の北西直距約65 km. 鉄床は暑寒別岳角礫凝灰岩中に層状に胚胎. 規模は延長200-350 m, 幅100 m, 厚さ50-100 m. 鉄石は褐鉄鉱. 鉄量は90万トン. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2411

伊原敬之助・小野 宗一(1941)

千島列島択捉島散布鉄鉱床調査報告. 18 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1941年10月. 位置は北海道千島国紗那郡紗那村大字チリップ. 化学沈澱鉄鉱床. 規模は延長約2,000 m, 幅500 m, 厚さ2-5 m. 鉄石は沼鉄鉄. 鉄量は1,300万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2412

伊原敬之助 (1939)

高知県幡多郡地方鉄鉱床予察調査報告. 18 p., 2 figs.

内容紹介

調査は1939年5月. 位置は高知県幡多郡富山村ほか, 最寄り駅は土讃線須崎. 鉄区が21箇所ある. 鉄床は含鉄珪岩中に胚胎. 鉄石は主に赤鉄鉄. 品位は30-35% Fe. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2413

槇峯鉄業所 (1950)

宮崎県槇峯鉄山地質含銅硫化鉄鉄床説明書. 17 p., 9 figs., 1 table.

内容紹介

地質精査(1000分の1)の結果をもとに, 鉄床地域の地質層序, 地質構造と鉄体配列との関係, 鉄石鉄物, 鉄床の成因, 鉄石品位などについて記述. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2414

槇峯鉄業所 (1950)

宮崎県槇峯鉄床近接地域の地質構造. 4 p.

内容紹介

鉄床胚胎区域の2000分の1地質調査の結果をもとに, 主要鉄体を胚胎する千枚岩類・緑色岩類, 及び褶曲・断層の構造について記述. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2415

竹内常彦 (1953)

福島県小平地域の縞状鉄鉄. 22 p., 5 figs.

内容紹介

調査は1953年5月6日-21日. 位置は福島県石川郡小平村・蓬田村, 東白川郡宮本村, 石城郡三阪村, 田村郡夏井村・小野新町にまたがる一帯, 水郡線石城石川駅の北東約15 km 及び磐越東線小野新町駅の南方約10 km の区域. 鉄床は御在所緑色変成岩中に層状に胚胎. 規模は密集地域の総延長1,500-2,000 m, 厚さ50 m, 個々の鉄体は走向延長30-130 m, 厚さ約5-15 m. 鉄石は酸化鉄, 鉄石と珪石が縞状を呈する. 品位は25-30% Fe, 3-5% Mn, 40-45% SiO₂. 鉄量は約100万トン. (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2416

岩手鉄業所 (1955)

岩手(粘土)鉄業所概要. 8 p., 3 figs., 8 tables.

内容紹介

位置は岩手県下閉伊郡小川村門^{カド}, 早坂高原線(バス)門停留所の直近. 鉄床は古生層を不整合に覆う第三紀層中に胚胎, 石炭を伴う. 規模は長径600 m, 短径250 m, 厚さ2-12 m. 鉄石は硬質粘土. 耐火度はSK33-36. 鉄量は確定約7万トン, 推定約100万トン, 予想約340万トン. (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2417

小野勇三郎(1956)

岡山県上市クローム鉱山調査書. 22 p., 3 figs.

内容紹介

調査は1956年5月上旬-7月下旬. 位置は岡山県新見市大字井村, 伯備線新駅の北方直距7 km. 鉱床は蛇紋岩中に胚胎. 規模は厚さ0.05-1 m. 品位は30-35% Cr. 鉱量は720トン.(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2418

松岡弁治郎(1933)

中国江西省楽平マンガン調査報告. 10 p.

内容紹介

位置は中国江西省楽平県衆埠街. 鉱床は雲母片岩中の珪岩に胚胎. 規模は長さ80-120 m, 幅25-70 m, 厚さ16-30 m. 鉱石は主に硬マンガン鉱, 赤鉄鉱を伴う. 品位は30-44% Mn, 19-34% Fe. 鉱量53万トン.(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2419

日鉄鉱業(1940)

中国広東省北海マンガン鉱山調査報告. 6 p.

内容紹介

位置は広東省と広西省の境界の十万大山脈から東西方向に, 防城県・欽城県・靈山県・合浦県にわたって分布. 鉱床は古生層砂岩・頁岩中に胚胎. 鉱石は主に硬マンガン鉱, 軟マンガン鉱・褐鉄鉱, 少量の赤鉄鉱を伴う. 品位は41-50% Mn, 2-11% Fe. 鉱量は450万トン.(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2420

森下正信(1943)

仏印ハーチン地方のマンガン調査報告. 8 p.

内容紹介

位置は仏領印度支那ハーチン県タクハー郡ビンリュイ村. 鉱床は三疊紀に生成したものの再堆積. 鉱石は硬マンガン鉱. 品位は23-29% Mn. (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2421

柵原鉱業所(1955)

柵原鉱業所概況. 12 p., 1 fig.

内容紹介

岡山県柵原硫化鉄鉱山の説明用資料.(活版印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2422

小野勇三郎(1956)

柵原鉱山復命書. 13 p., 3 figs.

内容紹介

調査は1956年7月26日. 位置は岡山県久米郡・勝田郡・赤磐郡, 片上鉄道柵原駅から1 km. 鉱床は粘板岩と輝緑岩の境界付近に貫入した安山岩・流紋岩の割れ目充填鉱脈. 規模は延長1,800 m以上, 幅450 m, 厚さ100 m以上. 鉱石は主に硫化鉄鉱. 品位は47% S, 0.2% Cu. 鉱

量は約2千万トン。

地質調査所研究資料集 No. 2423

小野勇三郎 (1955)

栃木県葛生地区ドロマイト調査報告. 21 p., 2 figs., 8 plates.

内容紹介

調査は1955年11月15日-16日。最寄り駅は東武鉄道佐野線葛生。鉱床は秩父古生層の石灰岩中に胚胎。規模は延長15 km, 幅約300 m。品位は18-19% MgO, 33% CaO, 0.5% SiO₂, 0.4% Fe₂O₃, 0.04% P. (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2424

小野勇三郎 (1956)

鳥取県広瀬クローム鉱山調査報告. 9 p.

内容紹介

調査は1956年5月4日。位置は鳥取県日野郡多里村新屋。クローム鉱床は蛇紋岩中に胚胎。規模は延長20 m, 深さ20 m, 厚さ4 m。品位は32% Cr₂O₃。鉱量は既採掘25万トン, 残8万トン。 (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2425

小野勇三郎・田中富雄・土屋久郎・花岡 菖 (1960)

千葉県木更津付近海底砂鉄調査報告. 11 p., 3 figs., 6 plates.

内容紹介

調査は1960年10月28日-11月6日。位置は千葉県木更津港の南西2,500 m×3,000 mの区域。試錐・船・作業用具などの概説。柱状図がある。 (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2426

小野勇三郎・阿倍 栄 (1960)

有明海砂鉄調査報告. 15 p., 1 fig., 14 plates.

内容紹介

調査は1960年11月20日-12月2日。位置は熊本県玉名郡長洲沖と長崎県高来郡多比良沖を結ぶ東西900 mの海域。潮流や試錐作業の内容などについて概説。着磁率の分布図がある。 (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2427

小野勇三郎・植地 済 (1956)

千葉・茨城両県下の砂鉄鉱山調査報告. 19 p., 2 plates.

内容紹介

調査は1956年9月22日-23日。飯岡鉱業所 位置は千葉県海上郡飯岡町及び旭市。最寄り駅は総武本線飯岡。鉱床は利根川によって運ばれた砂鉄が堆積したもの。規模は延長8 km, 幅約500 m。品位12-17% Fe。鉱量は約100万トン。波崎鉱床 位置は茨城県鹿島郡波崎町舍利浜から松下までの海岸。規模は長さ600 m, 幅最大150 m。品位20-30% Fe, 2-4% TiO₂。忍坂鉱山 位置は千葉県海上郡飯岡町蛇園ほか。規模は長さ300-750 m, 幅130-150 m, 厚さ5 m。品位は6-27% Fe, 6-8% TiO₂。鉱量は160万トン。 (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2428

丸山修司・伊藤吉助(1961)

秋田県鹿角郡大湯地域菩提野・中通両地区の砂鉄鉱床調査報告. 21 p., 4 figs.

内容紹介

調査は1961年10月16日から15日間. 位置は秋田県鹿角郡十和田町菩提野・中通両地区, 花輪線十和田南の東方数 km. 鉱床は第四紀十和田火山噴出物を覆う凝灰質砂礫層中に胚胎. 規模は走向延長 300-400 m, 傾斜延長 300-400 m, 厚さ最大 4 m. 鉱石は主に磁鉄鉱, 少量の赤鉄鉱を伴う. 品位は平均 20% Fe. 推定埋蔵鉱量は 34 万 2 千トン. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2429

著者不詳(19XX)

鳥取県人形峠鉱床地質断面図と放射能測定値関係図(D.C.P.). 1 fig.

内容紹介

10分の1断面図を収録.

地質調査所研究資料集 No. 2430

著者不詳(19XX)

鳥取県人形峠ウラン鉱床付近地質断面図. 1 fig.

内容紹介

200分の1断面図を収録.

地質調査所研究資料集 No. 2431

山口謙次・西山省三(1951)

島根県仁多郡横田町・鳥上村における砂鉄調査報告書. 108 p.

内容紹介

調査は1951年3月の18日間. 位置は島根県仁多郡横田町及び鳥上村. 砂鉄の性質と種類, 花崗岩の種類と品質との関係, 地形との関係などについて記述. (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No.2432

小柴定雄・中村信夫(1957)

冶金学的見地より見た山陰地方産砂鉄の地質鉱物学的研究. 46 p., 29 figs., 15 tables.

内容紹介

砂鉄の鉱床学, 母岩の岩石学, 砂鉄精鉱の鉱物学及び冶金学, 海浜砂鉄の成因などについて考察. (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2433

岡本要八郎(1958)

愛知県西尾市・幡豆郡鉱物誌. 60 p.

内容紹介

愛知県西尾市及び幡豆郡の地勢・地質の記述に始まり, 同地域に産出する48種類の鉱物について記載. (謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2434

東京通産局(19XX)

東京通産局管内鉱山分布図. 1 fig.

内容紹介

100 万分の 1 分布図を収録.

地質調査所研究資料集 No. 2435

著者不詳 (19XX)

赤金鉱山付近地質図. 1 p., 1 fig.

内容紹介

地質図を収録.

地質調査所研究資料集 No. 2436

五十嵐俊雄 (1965)

沖縄県渡名喜島ドロマイト分析結果. 4 p., 3 figs., 1 table.

内容紹介

ドロマイト 58 試料の採集箇所の地図と化学分析表を収録. (手書き)